

建設部

「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づき、選択と集中による早期の効果発現を図りながら社会資本整備を着実に推進するとともに、老朽化が進行している社会資本ストックの適切な維持管理と計画的な改築更新に取り組む。

(1) 地方道路交付金事業（交通安全）

管内には、東西に能代・大館と八戸を結ぶ国道103号、南北に盛岡と青森・弘前を結ぶ国道282号が幹線道路として通っている。いずれも、十和田八幡平国立公園を中心とした観光拠点を連絡する観光道路としての機能を有するとともに、生活圏中心地域（花輪、大館）へ連結する幹線道路として、また高速道路や大館能代空港など高速交通体系拠点へのアクセス道路としても重要な路線である。

その路線にある五ノ岱工区（国道103号）や西町工区（国道282号）は、大型車交通量が多い区間であるが、車道幅員が5.0～5.5mと狭小でかつ歩道のない区間であり、大型車のすれ違いや歩行者の安全な通行に支障をきたしているため、早急な整備が必要なことから車道の拡幅及び歩道を新設するものである。

【国道103号 五ノ岱工区（鹿角市十和田大湯五ノ岱）】

十和田湖方面への観光バスが多い



中型同士のバス、トラックのすれ違いにも支障をきたしている



冬期は歩行者を避けるため、乗用車でもセンターをはみ出してしまう

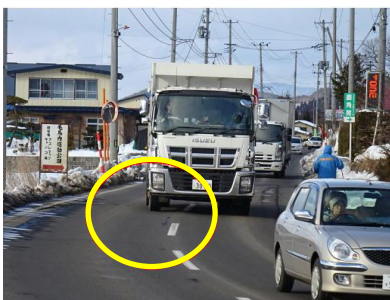


【国道282号 西町工区（鹿角市十和田毛馬内西町）】

後続車との距離が詰まり速度低下



大型車が車線逸脱し危険



堆雪の影響により歩行者の安全性が確保されていない



(2) 河川改修事業 福士川（鹿角市花輪下夕町）

昭和 38 年に発生した 210 戸の浸水被害をはじめ昭和 50・55 年、近年では平成 19・25・26 年の度重なる豪雨により福士川が氾濫し、周辺家屋に被害が生じたことから、早期に治水安全度の向上を図るため、効率的な河川整備を進めるものである。

具体的には、今までの親水性を考慮した 2 割護岸を 5 分護岸に改め、旧河川敷を最大限活用した法線に変更し整備する。また、管理用道路についても、市道認定し維持管理コストの低減も図る。

全体計画 S60 年～ 約 L=2.8km

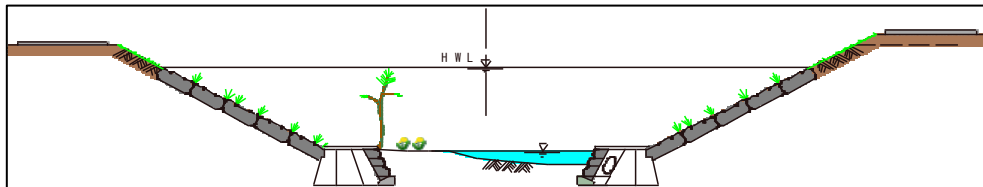
- 広域一般河川改修事業（放水路 S60～H13） L=1.55km（概成）
- 総合流域防災事業（H14～） L=1.25km
 - ・ 1 期工事
（主）十二所花輪大湯線組丁橋まで（H14～H25） L=0.20km
（概成 緩傾斜護岸）
 - ・ 2 期工事
市道横町東山線陣場橋下流まで（H26～） L=0.35km
（急傾斜護岸）
 - ・ 残工事
市道花輪小坂線福士川橋上流まで L=0.7km

状況写真



標準断面図

1 期工事



2 期工事

